

甲府駅に 常設店

やまなし
美味しい甲斐

「長生マスクメロン」
長生マスクメロン品評会審査に消費者も参加して食味した
(1日、千葉市で)

【やまなし】一般社団法人「やまなし美味(おいしい)しい甲斐」は1日、JR東日本八王子支社と連携し、JR甲府駅構内に常設のアンテナショップをオープンした。JR立川駅グランデュオ立川店「銘菓名品日本の味」コーナーの一角でも同時オープンした。

面店では6次産業化に

総合審査の結果、最優秀賞は田中政さん、優秀賞は三枝健司さんと田中勝さん(いずれも一宮町)を選んだ。1位に投票した消費者は3人で、うち1人に1箱2個入り(5400円)の「長生マスクメロン」を贈呈した。会場では審査員がおいしいメロンの見分け方や食べ方も紹介。農家やJA職員らは「おいしいながいきマスクメロンをどうぞ」「ギフトセンターで扱ってます」などPRした。

よる加工品や、特産の桃などを並べて乗降客にアピールした。同法人の原義盛代表理事は「立地条件を生かし、多くの人に知ってもらい販売していきたい」と意気込んだ。

アンテナショップはJR甲府駅2・3番線上のホームにあり、営業時間午前8時から午後8時30分まで。

新規就農者応援 ゾーンを設置

29、30日有機EXPO
【ちび】7月29、30日に東京都有楽町の東京国際フォーラムで「第2回オ

「ガニックライフスタイルEXPO」が開かれる。昨年11月に開いた第1回は、2日間で約2万人が来場。今年は規模を広げ3万人を目指す。今回は「新規就農者心

援ゾーン」を設置。就農10年未満か中山間地(2珍未滿)での就農、第二の人生で有機農業に取り組み就農者がブースを出展。農産物販売や情報発信、商談ができる。

湘南レッド

出荷ピーク

神奈川県川崎市



外皮をむいて選別作業をする成田さん

【神奈川・セレサ川崎】かわさき農産物ブランドやかながわブランドに登録されている赤タマネギ「湘南レッド」の出荷が、川崎市高津区でピークを迎えた。同区千年の成田憲一さん(53)らは、地区

の共同出荷に向け、選別作業に汗を流している。「湘南レッド」は、市内の個人直売所やJAセレサ川崎農産物直売所セレサモスなどで、季節の農産物として人気を集めている。

成田さん方では、40年ほど前から「湘南レッド」を栽培。作業には父

の茂さん(83)と母の里子さん(78)も加わり、毎年5トほど出荷する。成田さんは市内で3軒が加入する湘南レッド出荷組合長を務め、築地や大田市場、市北部市場などに共同出荷している。今年には3軒で10トほど出荷できる見込みだ。

合併1周年で 直売所ラリ

JAさいたま

【さいたま】JAさいたまは1日、中部統括部、南部統括部、北部統括部管内にあるJA農産物直売所15店舗で「JAさいたま合併1周年直売所散策ラリー2017」を始めた。

8月31日までの期間中、地場産農産物を食べ、各地区合計2000円以上のレシートを集めて応募。賞品は、①パーフェクト賞(中部・南部・北部の3地区)が直売所で使える商品券2万円分を5人②チャンス賞(各地区)は同商品券5000

米作り新人職員体験

山梨・JA梨北

【山梨・梨北】JA梨北は6月下旬、恒例となった米作りによる職員育成を始めた。

【山梨・梨北】JA梨北は6月下旬、恒例となった米作りによる職員育成を始めた。山梨市円野町の圃場(ほじょう)では、田植えから収穫までを新採用職員10人が担当する。農機を使わず手植え、草取り、鎌で収穫する。収穫した米は食味計で測り、自らの栽培を評価する。除草作業や水管理、農作業の大変さや難しさ、収穫の喜びを体験。病害虫防除など役割を分担し、課題を成し遂げることが目的だ。

JAのある山梨県北西部は、5年連続特A(通算10回)を獲得するブランド米「梨北米」の産地。近年は、米作りの経験がない新採用職員が増え、組合員とのコミュニケーションや日々の業務に農作業経験が求められていた。支店で農産物品評会

JA東京中央千歳地区

【東京中央】JA東京中央千歳地区は6月中旬の2日間、世田谷区のJA千歳支店で夏季農産物品評会を開いた。主な特別賞は、区長賞に福田充利さんのナス(千黒2号)と川本滋さんのニチニチソウ(タイタンMIX)、区議会議員賞に塩野大保さんのキュウリ(夏すずみ)を選んだ。

区内農家が野菜や野菜鉢、花卉(かき)類など農産物609点を出品。14日は形や大きさ、色などを審査した。1883点が入賞し、15点が特別賞に選



狭山茶を使った蒸しパン「お茶×ショコラ」(入間市提供)

を持ちかけた。「お茶×ショコラ」は、お茶風味の蒸しパン生地ホワイトチョコレートを組み合わせた。価格は2個入り110円(税別)で、3カ月程度の販売予定。(埼玉・いるま野)